

北アルプス：常念岳

- ◆日程 2024年2月10日(土)～2024年2月12日(月)
- ◆メンバー L：TY、GTA、OY、KT
- ◆天候 雪時々晴れ

10日の昼頃にOY車にて出発。渋滞も無く快調に進み、松本駅へ。GTAさんが抑えてくれたホテルにチェックインし、明日からの決起会をすることに。ホテルの人に居酒屋のおすすりを聞いたところ、DTさんが調べたお店と一致！（風林火山という居酒屋）明後日最終日に登頂する計画だったが、吹雪になる予報だったため、登頂するなら明日しかないという話になり、登山開始を早めることに。2時間程お酒と地元料理を楽しみ、就寝。

11日、3時にホテルを出発し30分ほどで須砂渡ゲートに到着。先行の車が10台程止まっていた。長い一日になるため、入念に準備して4時に登山開始。1時間程林道歩きを経て、取りつきへ到着。雪が多少舞っているものの気温も丁度よく、歩きやすい。心配していた藪も思ったより出でおらず一安心。トレースはしっかり付いているものの、急登続きであるため、こまめに休憩を取りつつ進んだ。11時、2160m付近に幕営。テン泊装備をデポし、アイゼンとピッケルに持ち替え、山頂を目指す。まだまだ先は長いが、幕営地までの急登の影響で登るたびにふくらはぎが痛んでいるのが分かる。上るペースも落ちてきたところ、前常念岳前最後の急登を前に、OYさんが引き返すことになり、3人で登頂を目指すことになった。13時40分、前常念岳にやっと到着。この時点で既に満身創痍だったが、ここまで来たからには…という思いで先を進む。あれが常念岳の山頂かな？と思っていたピークが実は異なり、やっと見えた山頂のラスボス感ある急登に無理かと思ったが、気持ちを奮い立たせて登っていく。14時40分、無事に常念岳の山頂に登頂。達成感と嬉しさが同時にこみ上げ、思わず涙してしまった。登っている時はほぼ何も見えなかったが、登頂したご褒美だろうか、雲に覆われつつも槍や穂高連峰を見ることができた。景色も無事堪能し、15時下山開始。下りも急のため、気を張りつつ下山する。2時間弱で幕営地に到着し、OYさんと合流。お酒やごはんを楽しんで、22時就寝した。



12日、5時起床。幕営地は丁度風が避けられる場所だったが、予報通り山頂付近は風が強そうだ。昨日無事に登頂出来て良かったなと思う。7時40分頃、下山開始。アイゼンとストックで下っていく。危険なところはなく、アイゼンも効く雪であったので快調なペースで下っていく。雪山だと滑るのが怖く、下りの足を置くときに緊張で変に力が入ってしまうので、この辺りは今後の課題だ。無事に怪我無く11時頃下山。温泉とお昼を食べ帰宅した。



雪山を始めてから2年で厳冬の北アルプス&冬のテン泊装備での10時間行動をやり遂げたことは自分自身にとって大きな自信となった。技術的な課題はまだあるが、今後も雪山を楽しんでいきたい。一緒に登山してくれたメンバーに心から感謝したい。

(記：KT)

CT：Day.1 須砂渡ゲート 4:00 - 取りつき 5:03 - 1955m 峰 9:00 - 2160m(幕営地)-10:58 - 前常念岳 13:35 - 常念岳 14:40-2160m(幕営地) 16:30
Day.2 2160m(幕営地)7:40 - 取りつき 10:14 - 須砂渡ゲート 11:00